

🎬 おうみ未来塾 運営委員より

少子高齢化、大震災、気候変動、感染症…全国・地球規模で社会が大きく変容しつつある今こそ、ローカルなコミュニティ単位で人・もの・コトをつなぎなおし、新たな発想で地域をプロデュースできるアクティブな人材がもっと必要です。おうみ未来塾の運営委員は、全員が卒塾生。県内各地で活躍する歴代卒塾生とのつながりを最大限に活かし、地域プロデューサーが持続的に育つ滋賀の風土づくりを推進しています。あなたも、私たちと一緒におうみ未来塾で学び、地域プロデューサーをめざしませんか？

🎬 滋賀県知事からの応援メッセージ

いよいよ「大阪・関西万博」、本県での「わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」と大規模なイベントの開催を迎えます。これらを契機に生まれた価値やつながりを滋賀のレガシーとして次世代に引き継ぎ、ともにいきる「健康しが」を具現化してまいります。「健康しが」の推進には、思いを持った方々が、地域や人とのつながり、活躍いただくことが必要と考えています。滋賀の未来をつくる仲間として、多くの方が地域プロデューサーを目指しチャレンジされることを期待しています。



三木 久造

🎬 おうみ未来塾 第18期生 募集概要

- 募集期間** 2025年5月13日(火)～7月12日(土)
- 受講期間** 2025年9月～2026年12月(約16ヶ月間)
- 受講資格**
 - ・18歳以上で受講期間を通じて参加可能な人。
 - ・地域社会の課題解決や市民活動に継続的に取り組む意欲がある人。
- 受講料** 40,000円(入塾時20,000円、翌年4月20,000円)
※研修地までの交通費や交流会参加費、昼食代などは自己負担。
- 選考方法** 応募書類と面談会の結果をもとに入塾者を選考。
- 募集定員** 25名程度



県内各所およびオンラインにて募集説明会を開催予定！詳しくは別紙「募集要項」を参照！

🎬 応募方法

- ①氏名、年齢 ②住所 ③連絡先 ④ご職業 ⑤ご所属団体等 ⑥オンライン会議やSNSの利用経験、⑦「おうみ未来塾の学びを通して地域で実現したいこと」(800字程度)を、右記応募フォーム、または下記メールアドレス、FAX、郵送にて募集締切までに提出してください。

🎬 よくあるご質問

- Q. 会社員や子育て中の人でも受講できますか？**
A. はい。過去の卒塾生にもそういった方がたくさんいらっしゃいます。不安があればお気軽にご相談ください。
- Q. 県外からでも受講できますか？**
A. できます。ただし、講座や活動の大半は、滋賀県内の各会場への現地参加が原則となります。

- Q. グループ活動の頻度は？**
A. 特に決まりはありませんが、過去の例では、現地での活動は平均月1～2回程度、オンラインミーティングは週1回程度のグループが多いです。
- Q. グループ活動は卒塾後も継続するのですか？**
A. 在塾中に取り組んだグループ活動は、必ずしも卒塾後も継続する必要はありませんが、そこで学んだことを、地域プロデューサー的視点で、地域での事業や取組に活かしてください。

詳しくは、説明会にご参加いただくか、淡海ネットワークセンターまでお問合せください。

🎬 運営体制

おうみ未来塾は、卒塾生をはじめとする地域の皆様のご協力のもと、淡海ネットワークセンターが運営しています。



最新情報は WEBで!



今こそローカルな時代！みんなのチカラで地域を元気に

【おうみ未来塾 第18期生(2025-2026年)新規入塾生募集※】

※新規入塾生の募集は2年に1回です

Think Locally,
Act Locally,
It becomes Globally!

地域プロデューサーになるう!



地域の現場で直接体感する実践形式
卒塾生383人のネットワークと実績

おうみ未来塾

地域プロデュース実践講座



淡海ネットワークセンター(公益財団法人 淡海文化振興財団)
 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20(ピアザ淡海2階)
 Tel 077-524-8440 Fax 077-524-8442
 e-mail office@ohmi-net.com
 WWW https://ohmi-net.com

淡海ネットワークセンター 検索



Ohmi Network Center
 淡海ネットワークセンター
 公益財団法人 淡海文化振興財団
 「おうみ未来塾」は、地域で活躍する多様な活動の担い手をはぐくむ淡海ネットワークセンターの人材育成事業です。

おうみ未来塾とは ～地域が先生！地域プロデューサーが育つ塾～



企業や行政とならんで市民活動やNPOが地域社会基盤の一翼を担う時代となっている今、地域固有の資源や魅力を活かし、さまざまな地域課題を解決できる人材が求められています。おうみ未来塾は、創造力とネットワークを駆使して地域課題解決に取り組む「地域プロデューサー」が育つ塾として、1999年の開塾以来、多くの人材を輩出してきました。

地域プロデューサーに求められること ～3つのチカラ、無限の可能性～



市民力
地域課題と向き合い、コミュニティに溶け込み、市民の力で主体的に課題解決に取り組む意欲と情熱がある

事業力
地域のための魅力的な事業を創造・計画し、必要な人や財源を確保して実際に実行・継続できる

ネットワーキング力
多様で豊富な人脈を形成し、想いやミッションを的確に表現（デザイン）して効果的に伝えられる

「地域プロデューサー」とは、「地域の課題を発見し、解決のための方策を考え、そのための運動や事業をおこすことのできる、市民力・事業力・ネットワーキング力を兼ね備えた人」のこと。おうみ未来塾では、この3つのスキルを実践的に身につけることができます。



おうみ未来塾ならではの3つの基本理念



【基本理念①】徹底した現場主義

「地域の現場でしか学べないことがある」との信念から、カリキュラム全体を通して、とにかく地域の現場に出向いて、地域を五感で感じ、そこで活動する人々との対話を通して学ぶことを徹底しています。



【基本理念②】実践経験から学ぶ

カリキュラムの中心である「グループ活動」では、実際に地域に入って塾生自身が事業を企画・運営します。複数メンバーでの実践経験を通して、地域活動に必要な生きたスキルや知識を最短で身につけられます。



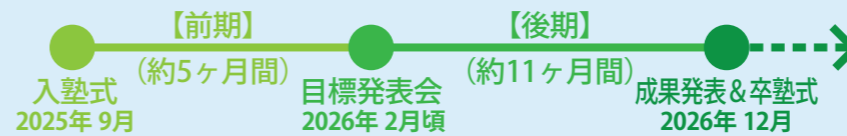
【基本理念③】塾生が主役！

塾生自身が主体的に塾生会を運営し、サブ講座の企画やグループ活動の事業計画を立て、地域に入って活動することが、塾生ひとりひとりのさまざまな学びや育ちに直結します。「教わる」のではなく「自ら育つ」のが未来塾流。

卒塾生ネットワーク ～ひろがる人脈、つづく学びの機会～

おうみ未来塾は卒塾して終わりではなく、むしろ卒塾してからが地域プロデューサーとしての新しい自分のはじまりです。県内すべての市町、および近隣府県に、あわせて383人も卒塾生がいて、その多くが今も地域で活動しています。誰がどこでどんな活動をしているか、卒塾生同士がお互いに情報を共有したり、必要な人材や資源をマッチングできる「卒塾生ネットワーク（仮称）」を卒塾後の自分の活動に活かしたり、イベントや講座に参加して継続的に学び直しをすることも可能です。

受講スケジュールとカリキュラム



前期

現地で学ぶフィールドワークと連続講座

- 入塾式 ... オリエンテーション・プレ講座など
- 本講座 ... 地域活動の現場でのフィールドワークと座学を組み合わせた講義
- サブ講座... 塾生自身が企画・運営する学びの場
- 塾生会 ... 塾生同士で、サブ講座の内容やグループ構成などについて話し合う
- グループ形成... 後期グループ活動のチーム分け

後期

グループで地域課題に取り組む実践活動

- 目標発表会 ... グループごとに活動計画をつくり発表する
- グループ活動... グループごとに実際に地域に入って活動を実践し、メンバー全員で課題解決に挑戦
- 中間報告 ... グループ活動の途中経過を発表・共有
- 相談会 ... 運営委員などに活動のアドバイスをもらう
- 成果発表 & 卒塾式 ... グループ活動の成果や反省を発表・共有、修了証書を授与

ひとりひとりの学び・育ちを支えるサポートシステム

- オンライン併用... 出席できなかった講座の動画記録を自宅で視聴したり、塾生会やグループミーティングをオンライン（Zoom）で行うことができます。
- 情報共有と伴走支援... LINE等を活用し、塾生同士でリアルタイムに情報共有。また、運営委員や卒塾生が必要に応じて個々の塾生の悩みやグループ活動の相談に乗ります。
- ふりかえりシート... 同じ講座や活動でも、そこから何を学ぶかは十人十色。自らの学びをアーカイブし、今後の活動に活かせるよう、講座ごとに各自で「ふりかえりシート」を作成します。

※各行事や本講座の日程、卒塾要件など、詳しくは別紙「募集要項」を参照ください。

卒塾生インタビュー!

- ①現在の住まい
- ②在塾時の職業
- ③現在の職業
- ④在塾時の活動



大山 真さん 12期生

- ①近江八幡市
- ②会社員
- ③デザイナー
- ④8meets (伝統野菜「北之庄菜」のプロデュース活動)

●おうみ未来塾に入塾した動機は何ですか？

岡 当時は大学生で、ボランティアでNGO活動に関わっていました。主に県外で活動していましたが、出身地である滋賀県の地域のことをもっと知りたいと思い入塾しました。

山本 大阪での仕事を経て実家のある甲賀市に戻ってきたことを機に「地域のために何かしたい」と思ったが、何からすればいいかわからず、SNSで調べて相談した相手が、おうみ未来塾の卒塾生でした。

中畑 会社以外でも何か社会貢献がしたいと思い、ボランティアを探していた時に未来塾のパンフレットと出会いました。

●未来塾ではどんな「学び」がありましたか？

大山 当時はグローバルな仕事がデザイナーとしての醍醐味でしたが、入塾して、ローカルコミュニティの活性化が地域の未来に活力を与え、やがて世界につながると感じました。



岡 佑里子さん 1期生

- ①東近江市
- ②学生
- ③京都YWCA
- ④心のバリアフリー（人が抱える「心のバリア」の実態調査と劇による発表）

「地域活動」は定年退職してからの活動というイメージがありましたが、同期の塾生のフットワークの軽さを見て、若い世代でもどんどんアクションを起こせばいいんだ、ということ学びました。

山本 「滋賀をよくしたい」という共通の思いをもった仲間ができたことが大きい。人とのネットワークの広げ方や異世代との付き合い方も自然と身につきました。

中畑 グループ活動でのイベントには6歳と8歳の子どものも連れていくことが多く、子どもたちと一緒に貴重な経験や学びをさせてもらえました。子育て中の当事者として、今の地域社会の中で何が課題なのかみんな確認しあえたのもよかったと思います。在塾中は時間的に厳しい面もありましたが、それを超える充実感がありました。オンラインミーティングがあったおかげで仲間との絆も深まり、最後まで続けることができました。



中畑 奈緒さん 16期生

- ①彦根市
- ②③会社員
- ④シガリアン増殖化計画（滋賀を愛する人々の活動を通じて滋賀の魅力を発信）

●未来塾での経験は今に活かせていますか？

中畑 同期のメンバーとは今も情報交換が続いています。「シガリアン」のグループ活動を卒塾後も継続するかたわら、未来塾での経験を活かし、地元彦根で「子ども第三の居場所」づくり活動にも参画しています。

山本 未来塾生として立ち上げた活動を「村づくりLabo.」として継続。市内をはじめ、多くの方に磯尾の地域資源を活かしたイベントを楽しんでいただいています。

大山 地域活動の現場で生の声を聞けたり、実践を通じて多くの体験や失敗を実際に体感できたことは、セミナーや本では決して得られない貴重な経験でした。

岡 未来塾は、人と人とのマッチングの場。現在は京都YWCAで多文化共生・高齢者・保育園の運営などに携わっていますが、未来塾での基盤があるからこそ、今の仕事につながっていると感じています。



山本 尚路さん 15期生

- ①甲賀市
- ②③自営（造園）
- ④甲賀☆ムラづくりLABO（甲賀市磯尾地域での村おこし活動）